道北・幌加内周辺パウダートリップ

記　T野

（ほろたちスキー場　積雪105cm）

2020年2月21日～24日

メンバー：T野・Ｙ科・Ｔ中Ｍ・Ａ原・Ｔ山・Ｙ井

日本有数の寒冷地で豪雪地帯としても有名な道北、幌加内町。町の周辺には概ね標高 600～700ｍの山々が連なっている。東京でいうと高さやスケールでは陣馬～高尾山周辺とほぼ一緒。ホントに町の裏にある里山だ。「あっ、なるほど！！「バックカントリー」という言葉はまさにこういう意味なのか！！」と思わず納得するような山々である。

ただ、道北の陣馬～高尾は一味違う。まず第一に植林はほとんどなく山々は天然林に覆われている。その多くは本州では珍しい針葉樹の疎林、エキゾチックな雰囲気を醸し出している。第二に 2 月は通常であれば-10℃以下という超寒冷地、ゆえに常にいい雪が保存されている。第三にニセコなどの裏日本豪雪地帯には及ばないがそこそこの雪が降る、それもドライパウダーが・・・。当然だが裏日本豪雪地帯より晴天率は高い。そして最後に裏山ゆえに高山ほど気候が厳しくなく、ほとんどが樹林帯なので山が荒れることが少なく快適に遊べる可能性が高い。つまり、幌加内町周辺は天気・積雪量・雪質どれをとっても厳冬期にパウダーを快適に滑れる条件をほとんど満たした「夢の王国！！」パウダーランドなのである。

ただ大きな欠点もある。我々が住んでいる関東からは恐ろしく遠く、時間とお金がかかることだ。それでもここを訪れた理由は・・・？

当初、北海道スキーを計画した際、吹上温泉周辺の三段山・前十勝・富良野岳辺りを考えていた。しかし、白銀荘の予約が取れなかったこともあり、旭川周辺をベースで計画を考え直していた時、出張で秀岳荘旭川店を訪れた。「どこかこの辺りでお奨めの場所はないですかねぇー？」この辺りを滑りまくっているスタッフにいろいろ情報を訪ねた際、こっそり教えてもらったのが幌加内町周辺の山々だ。あとはネットでググってみるとそこそこ記録が出てきて・・・読んでいるうちに調べるのが楽しくなってきて、そして行くのが楽しみでワクワクしてきた！！

■写真上　冬路山東面の白銀の森を疾走するＡ原さん。

■写真下　同じく冬路山東面の白銀の森を疾走するＴ山さん。

パズルのピースがカチッとはまるように格安チケットも手に入れ、最適なベースも見つかり、格安のレンタカーもゲット、さらに北海道在住のＹ井さんの参加も決まり計画の全てが上手く回り始めた。ただ、参加予定だったＩ崎さんが予想もできない事情で直前不参加となり、さらに心配事は今年の記録的な小雪と、直前の天気予報。なんでも、幌加内町をしても最低気温が-5℃、最高気温は何と＋表示！！さらに中日の日曜日は爆弾低気圧！！気温は高く予報は悪い。良い材料が何もない、最悪だ！！何とかしてくれー！！

ということで前途多難の報告ですがその前に、ちょっと今回利用した施設等の備忘録を・・・。

■宿について

2/20 のエアドゥーの最終便で千歳に飛び利用したのが空港に隣接している「新千歳空港温泉」。温泉代¥1500 と深夜料金¥1500 合わせて¥3000 で広い温泉に入り放題でフルフラットのリクライニングチェアーで快適に眠れる。朝 6:00 から朝食も無料で食べられる。空港隣接という便利な場所にある割にはコスパも良く翌日、フルに動きたいときはお奨めだ。ただし予約は受け付けず、満員になり次第受付終了ということなので混んでいる時期は要注意だ。
http://www.new-chitose-airport-onsen.com/

■写真上　坊主山山頂から白い幌加内の町を望む。
■写真下　メルヘンチックでエキゾチックな森、犬牛別山への気持ちの良い登り。

そして今回ベースとして使用したのが旭川市郊外にあるキトウシ森林公園家族旅行村のケビン。ここは定員 8 名で一棟 1 泊¥18900、3 泊目以降は割引があって 1 泊¥13900、暖房費など全て込みでこの価格だ。今回は 6 名で利用したが 3 泊で一人当たり￥8616 と非常にリーズナブル！！(8 人で行けば激安！！)施設はキレイで暖かく、充分広い。炊飯器も電子レンジもトースターもあり、その気になれば家庭で作れる料理なら何でもできる。もちろん布団もタオルもバスタオルも 8 組分完備。さらに車で 2～3 分の所にキトウシ高原ホテルがあってここのトロン温泉が割引価格￥400 で入れる。これってかなりの高級物件、関東周辺ではこの倍くらいの金額が普通だろう。

ここから、幌加内の山々まではおよそ 50～60 km、車で約 1 時間半のアプローチだ。また、その気になれば三段山・前十勝・富良野岳辺りも同じ位の時間でアプローチ可能という事で山スキー候補地の引き出しは俄然広がる。車の運転が苦手な人にはアプローチが少し遠いかもしれないが道路状況は良く、初

めて走る道のドライブは新鮮で私的には全く苦にならなかった。また、ここは旭川の市街地にも近く気軽にグルメも楽しめ、旭山動物園もすぐそば！！天候や条件によって様々な楽しみ方が可能だ。
ハッキリ言ってここは良い！！あまり、他人には教えたくない穴場だ。来年もぜひここに来たい！！
http://www.kazokuryokoumura.jp/stay/

■レンタカー

Ａ原さんが見つけた「北海道レンタカー」を利用した。2/20 の深夜から 2/24 の 17:00 で 7 人乗りワゴン「トヨタボクシー」が何と¥20000（税込）！！安っ！！特殊なシステムで手続きもスムーズ。車は中古車だがこの価格にしては充分満足。
ここも、また利用したい！！
http://rentakar.sakura.ne.jp/

さて、前置きが長くなりましたがここからが山の報告です。

■2/21　音江山（795m）

朝、6:00 前にオープンした新千歳空港温泉の朝食サービスを急いで頬張り、レンタカーで出発。カーナビがあるのでストレスのないドライブが楽しめる。7:30 に岩見沢ＳＡで北海道在住の元会員、Ｙ井さんと合流。今回は前夜、会社から直行するメンバーの事前に送った荷物を一手に引き受け、さらに車まで出していただき大車輪の活躍、有り難いかぎりだ。

さて、北海道上陸初日は深川市にある音江山を目指す。半日行動で、ベースへのアプローチ上にあるので都合が良い。ちなみにこの山の標高 795mが結局今回のツアーの最高峰となった。

■写真上　霧氷の音江山の登り。
■写真下　音江山山頂にて。

深川ＩＣで高速を降りて深川市内のコンビニで買出し後、登山口に向かう。除雪終了点に車をデポして 9:50 に出発。傾斜のない林道を約 30 分歩くと夏道の登山道の道標がありここで林道から登山道に入る。平日にもかかわらずトレースがあり、夏道沿いに登っているので何の疑いもなくそれに従う。この尾根はオキリカップ川支流川の右岸の尾根だが、藪が濃く尾根も細く遠回りで良いルート取りではなかった。何も考えずにト

■写真上　音江山の快適なツリーラン！！
■写真下　同じく音江山、若干雪は少ないが充分快適だ。

レースに従ったのは失敗だったようだ。左岸の 636m標高点を目指すのが正解。

ただ、大した問題はなく高度を上げていくことができる。予報だと今日が一番天気が良さそうなのだがあいにくの小雪模様。景色が見えないのは残念だが、気温が高いので雪質を考えると今日はこのままの天気の方が良いのかもしれない。主稜線に乗ると穏やかな登りしばらくで 13:04 山頂着。北海道では人気の山らしいが平日ということもあり、他にパーティーは見当たらず思惑通り静かな山が楽しめそうだ。

さてお楽しみの滑降、いざ！！最初から最高のバーンだ。雪も我々にとっては申し分ないパウダー！！オキリカップ川支流川の沢床までの標高差約 250mは量より質、素晴らしい滑降が楽しめた。本当は登り返してもう 1 本！！と行きたいところだが時間もないので今日はここからは沢沿いボブスレーの消化試合。林道まで戻り、林道を自動運転で滑れば車をデポした除雪終了点に 14:25 着。まあ、初日にしては上出来の 1 日だった。

今回は視界があまり良くなかったのでこの山の概要が今一つはっきりわからなかったが、山頂からすぐに沢に滑り込まずに少し傾斜は緩いが 636m標高点付近を目指して滑った方が長い距離の滑降が楽しめたのかもしれない。または我々が滑ったルートであれば、沢床から一度左岸の尾根に登り返した方が後半戦が楽しいと思う。地形図を見る限り楽しそうなところは山頂付近にたくさんあり、勝手がわかればきっともっと楽しめる山なのだろう。

それでも思ったより順調に下山できたので、旭川市内に立ち寄り、梅光軒の旭川ラーメンを楽しんでスーパーで買出し後、ベースにするキトウシ森林公園のケビンへ。先程詳しく書いたがキャンモアスキービレッジに隣接するこのケビンは居心地抜群！！室内はパジャマで宴会できる暖かさで持参したダウンパンツは無用の長物だった。

■コースタイム
除雪終了点（9:50）～（10:18）音江山登山口～（13:04）音江山（13:15）～（14:25）除雪終了点

■2/22　犬牛別山～坊主山

　メルヘンチックでエキゾチックな素晴らしい山でした！！

　明日の天気が絶望的なので今日を思いっきり楽しむため、早起きして朝 6 時前にベースを出発。江丹別峠を越え幌加内へ。北海道らしい白い世界に一直線に伸びる道を気分よく「北の国から」のテーマ曲を口ずさみながら走り、幌加内町の廃棄物処理場に車をデポ、7:35 出発。何羽ものカラスが舞いわずかに悪臭が漂う廃棄物処理場の横を通り沢に沿って歩き適当な場所で右岸の尾根に取り付くが沢が割れていてスノーブリッジもなく空身で沢を飛び越えて対岸に渡る。渡ってしまえば穏やかな登高で快適に歩みを進めることができる。尾根には 2 つ小ピークがあるので巻き気味に登り小ピークを越えた 380m付近で尾根に乗り犬牛別山を目指す。標高が上がるにつれ、ダケカンバと針葉樹林の牧歌的な疎林が広がり今まで見たことのない大陸的な風景が広がる。背後にはこの辺りの最高峰の三頭山を中心とした山々が 1000 mクラスとは思えない雄大さで迎えてくれる。緩い登りが気持ちいい！！

■写真上　犬牛別山の登り、三頭山を望みながらの楽しい登り。
■写真中　犬牛別山を目指して。
■写真下　坊主山山頂にて。

　722m峰の南側を巻き犬牛別山の登りになるとさすがに風が強くなる。本来ならこの辺りは-10℃以下、厳しい寒さに震えるところだろうが今日の気温は高めでせいぜい-5 度前後、本州の山とそれほど変わらない。（先々週の十石山の方がはるかに寒かった。）

　最後まで穏やかに登り詰めると 10:45 犬牛別山（745m）着、

道標もないかわいい山頂だ。予定通り南西斜面を落とす。沢床までの標高差 200m強の斜面は傾斜・雪質ともに最高！！シュプールのない面ツルバージン斜面に思わず雄たけび全開状態！！さすが北海道、来て良かった！！

例年とは違い小雪で暖冬という悪条件、それでも我々にとっては充分楽しかった。沢床は所々水流が出ていたが問題なく対岸に渡り坊主山に向かって登り返す。最初の 100m程は急登だがすぐに穏やかな疎林が続くようになる。この辺りの雰囲気も素晴らしい。途中、風のないところで一本取りこの状態を充分楽しむ。こういう時の一服はホント旨い。

さらにのんびり登って行くと坊主山（743m）着、かわいい目立たない道標があった。今日一日天気が持ってくれたことに感謝。今度は西斜面を落とす。ここも標高差 250mは最高！！ただ沢沿いまで落とすと地形が複雑で小雪の影響もあり、ややアドベンチャラスな下山となる。滑るというより降りられるルートを探しながら標高を落としていくという感じ。部分的には水流のすぐ横をトラバースしたり登り返したりで雪も重く腐り大汗をかく。やがて、ほかのパーティーのトレースと合流して一安心。あとはそのトレースを辿り難なく下山した。

トレースの主は札幌のパーティーで、下山後少し話をしたところ犬牛別山の北斜面を滑ったという事だ。後にＹＡＭＡＰに記録がでていて、それを見ると北面も素晴らしかったようだ。彼らは我々が滑った南西斜面は雪が重くて楽しめないと思い北斜面をチョイスしたようだ。(我々のレベルでは充分楽しいパウダーだったが・・・)

■写真上　犬牛別山南西面を快適滑降するＹ科さん！！
■写真下　坊主山西面をぶっ飛ばすＡ原さん！！

ただ、北海道的には北斜面はきっともっと快適だったのだろう。次回来るときには頭に入れておきたいルートだと思う。標高差 200m位は楽しめるようだ。登り返しは 722m峰に向かいほぼ我々が登ったルートを滑って帰るようだ。(その場合は坊主山はカットすることになるが・・・。)

また、彼らは翌日はさらに北にある霧立峠周辺を滑ったようだ。これもＹＡＭＡＰに記録があり、規模は小さいようだが登ったり滑ったりして遊ぶには良いところのようだ。(この日は我々は悪天にめげて山には入らなかった。) さらに、条件が良ければ今日、雄大な姿を見せていた三頭山も日帰りで登れるようなので、機会があればぜひチャレンジしてみたいと思う。こちらは、お気軽スキーというより真面目なスキー登山、という感じのようだが・・・。

今回、初めてこの地を訪れたが視界が良かったこともあり概要がわかり、魅力的な場所もいくつか見つかったのでぜひ、また来年も計画してみたい。

さて、充実感もあり気分良く下山できたので今日は大盤振る舞い、旭川の回転ずし「トリトン」で打ちあげ。気が大きくなって何と￥3700 も食べてしまった。その後はトロン温泉、宴会といつもの流れで･･･。

■コースタイム
廃棄物処理場（7:35）～（10:41）犬牛別山（11:00）～（12:10）坊主山（12:35）～（14:05）廃棄物処理場

■2/23　旭山動物園

爆弾低気圧接近で大荒れ予報だが、ベースのキトウシは小雪が降る程度で穏やか。後悔しそうなので幌加内町の鷹泊山を目指して出発、下幌加内ダムを目指す。鷹泊山は下幌加内ダムの南方にある 653.6mの地図に山名の載っていない山だ。気温が高く湿った雪でも北斜面で傾斜が緩いので比較的雪質が良く、雪崩のリスクも少ないルートと思い今回チョイスした。ただ、現地まで行ってみたが湿った雪礫と風にめげ、あまり楽しそうではなかったので以前から少し気になっていた旭山動物園に転進。山には入らなかった。

旭山動物園は動物の普段の行動を見せる工夫が随所にあり、楽しませてくれた。ペンギンの散歩、アザラシの泳ぐ様、ホッキョクグマやヒョウなどの猛獣、チンパンジー・カバ等々。¥820 というリーズナブルな入場料で 1 日楽しめた。大して運動していないので心苦しいが、この日の夜は焼肉を満喫。明日はしっかり動かなければ・・・。

■2/24　冬路山

早くも最終日、今日は東京まで戻らなければならないので午前中一本勝負！！という事で比較的短時間で楽しめそうな冬路山を目指す。江丹別峠を越えて降りきった場所にあるパーキングスペースに車を置いて 6:50 出発。曇っているが空が明るく期待が持てそうな天気だ。昨日雪が降ったようで 20 ㎝位新雪がありリセットされたフカフカの山を登って行く。ルーファイも簡単で西に延びる尾根に取り付いて高度を上げていけば良い。421mの標高点で傾斜がなくなる辺りから晴れてきて木々にまとった雪の花が咲く疎林を感動しながら登って行く。木の種類は違うがちょっと鍋倉山の西ノ沢を彷彿させるような雰囲気だ。帰路はここを滑れると思うと心が躍る。傾斜は徐々に急になるが白銀に輝く森を疲れを忘れウキウキしながら登って行く。幌加内の町が真っ白な雪原と化しいかにも北海道的な風景が美しい！！

■写真上　旭山動物園のペンギンの散歩。
■写真下　幻想的な冬路山への登り。

やがて、冬路山（625.1m）のかわいい山頂着。まずは東面を落とそう。今日は時間制限があるのでもたもたしていられない。青空に映える白銀の疎林を雪煙を蹴散らし滑る最高のひと時！！もちろん雄た

けび全開！！標高差 100m程と短かったが最高の時間だった。ここは時間に余裕があれば標高差 300mほど落とすことができそうなので、ぜひ次回は時間に余裕のある時に訪れたいところだ。ただ、標高も低く、日当たり抜群の東面なので、雪が降った翌日、晴れて放射冷却でキーンと冷えた時がこの斜面のベストタイミング。そんな時にまた訪れることができたら最高の幸せだろう。

　さて、登り返して再び山頂を踏んで今度はお楽しみの北西面の滑降だ。もちろんここも素晴らしい！！傾斜・雪質・ロケーションともに文句なく最高！！北海道ツアーの有終の美を飾るにふさわしい滑降だった。最後は高度をできるだけ落とさないように尾根の南側の薮っぽい斜面をトラバース気味に滑降。標高も低く気温も高いのでこの斜面は雪も重く消化試合に近い滑降となった。。ここももし時間があれば雪質の良い尾根の北側を滑りたいところだ。ウーン、あと 2～3 日滞在出来たらなぁー、帰りたくないなぁー。遅れることが許されず、サクサク行動したので 10:25 には車をデポしたパーキングに戻ってこれた。これで余裕を持って帰れる。

　冬路山も、非常に滑降ポテンシャルの高い山でした。標高 600～700mの里山ですが今回この地を訪れて改めてポテンシャルの高いエリアであることを実感しました。まだ、本州ではあまり知られていないエリアですが厳冬期の北海道で山スキーを楽しむには絶好の場所です。さすが、現地の方が良いと言ったエリア、小雪・高温と条件はあまり良くなかったようですが我々にとっては充分に楽しめました。最後にこのエリアを教えていただいた秀岳荘スタッフの方に感謝します。

■コースタイム

江丹別峠下のパーキング（6:50）～（8:40）冬路山（8:50）～東面滑降～（9:30）冬路山（9:40）～（10:25）江丹別峠下のパーキング

※江丹別峠下のパーキングは江丹別峠から下って下幌幹線用水路を越えてすぐのところにある駐車スペースです。

今回の道北・パウダートリップは、当初の小雪・悪天候予報という条件の割には4日間のうち2日は天候に恵まれ、雪質・雪量ともに我々としては充分楽しめて、ベースの快適さ、グルメなども大満足のツアーになりました。本来のドライパウダーであればきっとさらに素晴らしいツアーが楽しめると思います。さあ、来年も行くぞ！！その前にお金を貯めないと・・・。夢はどんどん膨らみます。

■写真上　冬路山の白銀の森を滑るＴ中Ｍさん！！
■写真中　同じくＹ井さん。
■写真下　幻想的な白銀の森、冬路山東面の登り返し。